

平成21年(2009年)11月1日発行

キャンパスリニューアルで快適に

―実施と今後の計画―

学内環境のリニューアルが進んでいる。既に完了した「学友門」新設、本館トイレの改修、大型設備の導入であり、学生駐輪場は、現在進行中。今年度中に太陽光発電増設工事とW4棟の改装を実施し、来年度には、本館玄関のリニューアルが進められる予定である。

「学友門」完成 学友会館の向かいに「学友門」が完成した。平成21年9月28日(月)開通式が行われ、当日午後から使用されている。本工事は、学友門から正面ロタリーまでのキャンパス内道路と駐車場の整備も行った。築山や道路脇のグリーンが定着するのは2年後位を予想している。「学友門」は人・自転車に限定して使用されるが、東武動物公園駅、商店街などへの通用口として大変便利になったと好評である。同時に、キャンパスのイメージが明るく開放的なものとなり、学内関係者のみならず地域住民にも歓迎されている。

「学友門」完成 学友会館の向かいに「学友門」が完成した。平成21年9月28日(月)開通式が行われ、当日午後から使用されている。本工事は、学友門から正面ロタリーまでのキャンパス内道路と駐車場の整備も行った。築山や道路脇のグリーンが定着するのは2年後位を予想している。「学友門」は人・自転車に限定して使用されるが、東武動物公園駅、商店街などへの通用口として大変便利になったと好評である。同時に、キャンパスのイメージが明るく開放的なものとなり、学内関係者のみならず地域住民にも歓迎されている。

「学友門」完成 学友会館の向かいに「学友門」が完成した。平成21年9月28日(月)開通式が行われ、当日午後から使用されている。本工事は、学友門から正面ロタリーまでのキャンパス内道路と駐車場の整備も行った。築山や道路脇のグリーンが定着するのは2年後位を予想している。「学友門」は人・自転車に限定して使用されるが、東武動物公園駅、商店街などへの通用口として大変便利になったと好評である。同時に、キャンパスのイメージが明るく開放的なものとなり、学内関係者のみならず地域住民にも歓迎されている。



本館正面玄関のリニューアルで大型バスなども通行可能になる(完成イメージ)



開通式で挨拶する大川理事長(学友門から学内を臨む)



開通式でテープカットを行う理事長ら

11/1(日) 第10回ホームカミングデー開催

今回で10回目を迎えるホームカミングデーが、11月1日(日)に開催される。これまで参加できなかった皆さんも是非参加いただきたい。また研究室OB会参加の皆さんにも懇親パーティーを行う(ホームカミングデー実行委員会)へ参加願いたい。当日は、博

太陽光発電増設

本館は、文部科学省の「工

本館玄関リニューアル計画 本館正面玄関のリニューアル計画を進めている。これは学友門から本館前ロタリーまでの通路が整備されたことに併せて、正門からの景観を向上させることを目的としたものである。工事内容は2階への外部階段を撤去し、大型バスなども通行可能なように改修するとともに、半円形の歩行者用の屋根付通路を設置する(図参照)。時期的には来年度の施工となる予定。

学生駐輪場の充実

平成21年度後援会特別

学生駐輪場の充実 平成21年度後援会特別事業として、昨年に引き続き駐輪場整備が行われている。学友門から東門にかけて約200台分、本館前の公道側の植え込み部分に約100台分、博物館北側に約100台分の自転車置き場を設置、あわせてバイク置き場約100台分も併設する。この駐輪場整備工事完成後は、老朽化した既存の駐輪



パーティの最後には参加者全員で校歌を熱唱

若杉祭 第41回 11月1(日)・2(月)・3(火)祝開催



左上:屋外ステージのイベント 右上:音楽系サークルのライブ 左下:留学生の模擬店 中央下:屋内でも様々な催し 右下:学生の募金活動(全て昨年の写真)

1969年に始まった若杉祭も今年で41回を迎える。11月1日(日)には、ホームカミングデー、建築設計コンペの表彰式も行われ、学園は祭り一色に彩られる。今年も若杉祭は11月1日(日)から3日(火)の3日間開催される。今年の若杉祭のテーマは、「GATEAU(ガトー)」意味が込められている。スポンジを重ねるように、これまでの歴史と伝統を重ね、ここにお客様をはじめとする、参加団体、大学関係者といっただ協力してくださる方々、この若杉祭にかかわるすべての人たちが若杉祭を彩っていただきたいという願いが込められている。今年の若杉祭の企画だが、毎年恒例の「秋のからっ風こんさあと」では、今年で15周年を迎える大人気アーティストの「相川七瀬」がライブを行う。学園祭でのライブは本学だけである。また、若杉祭初日には声優から歌手といった幅広い活動をしている「May'n」のライブも行われる。「Talk&Live」には、声優の「井上喜久子」と「置鮎龍太郎」、芸人では「インパルス」と「オオカミ少年」を迎えるなど、今年度は超豪華企画の連続である。その他にも、子供から大人まで楽しめる「サイドイベント」豪華景品がもらえる抽選会「後夜祭」、「野外ステージイベント」など様々な企画が用意されている。様々な飾り付けをされ彩られた若杉祭というケーキ、是非お客様に足をお運びいただき堪能してもらいたい役員一同心よりお待ちしております。(大学祭実行委員会委員長 阿部修也)

本館トイレ改修

今年の夏休み中に本館のトイレの一部改修を行った。本館トイレ改修の第一期工事として、1号館2階の東西に位置していた男子トイレを女子用に改装、また、復、教育実習、2階は小型の機械や計測機器の展示スペース等に使用されている。温水洗浄が、これを改装し、生活環境

W4棟改装

現在、W4棟は博物館分室として1階は機械類の修繕室、2階は小規模の機械や計測機器の展示スペース等に使用されている。温水洗浄が、これを改装し、生活環境

大型設備の更新

本年度の大型設備の導入は、以下2件が採択され、秋学期から利用されている。①機械工作センターの「実習用・精密旋盤」10台を一挙にアマダワシノ製へ更新し、効率的に学習課題に取り組める環境を整備した。②W10棟301・304号室の「学生用製図台」250台(532台は更新済み)をムトーエンジニアリング製へ更新した。

日本工業大学 平成22年度入試日程

Table with columns for exam type (e.g., Special Admission, General Admission, Center Admission, AO Admission), dates, and locations. Includes details for the 2nd, 3rd, 4th, and 5th periods.

日本工業大学 大学院工学研究科 博士前期課程・博士後期課程

Recruitment information for the Graduate School of Engineering, including application dates, exam dates, and contact information for the Graduate School of Engineering.

第23回 建築コンペ

ファースト・プライオリティを明確にすることで設計が可能になる 81校から278点の応募「小さな豪邸」

1等 遠山 僚さん 受賞作品



小嶋一浩
(建築家・東京理科大学教授)
1958年大阪生まれ。京都大学卒業。東京大学大学院修了。Cat(シーラカンズアンドアソシエイツ・トウキョウ)共同主催。主な作品に「美浜打瀬小学校」「スペースブロック・ハノイモデル」など

コンペのテーマである「小さな豪邸」を見た瞬間、小さくてかつ豪華であることという一見、矛盾した感じが惹かれました。それから、模型でカタチを組み合わせて、アイデアを思い浮かべ、スケッチブックにぶつける日々。ある日、友人がノートに



山梨県立富士北穂高等学校
建築デザイン科(2年)
遠山 僚

私の、この夏の贅沢

建築を学ぶ全国の高校生を対象に実施される日本工業大学建築設計競技は、今年度で第23回となる。今回は、審査委員長に建築家の小嶋一浩氏(東京理科大学教授)を迎え、「小さな豪邸」を課題に開催。81校より278点の応募があった。入賞者の作品は11月1日(日)から30日(月)まで、本学大学祭期間中にLCCセンターで展示され、1日には同センター・マルチメディア教室で表彰式と審査委員長による講評とスライドレクチャーが行われる。

「小さな豪邸」を見た瞬間、小さくてかつ豪華であることという一見、矛盾した感じが惹かれました。それから、模型でカタチを組み合わせて、アイデアを思い浮かべ、スケッチブックにぶつける日々。ある日、友人がノートに

講評

高校生とは思えないおもしろくて質の高い作品を審査し、いい体験になった。

建築の設計は、膨大な量の情報を取り扱わなければならない。建築へとまとめていく、たいへんな作業です。「セプト」といっていい

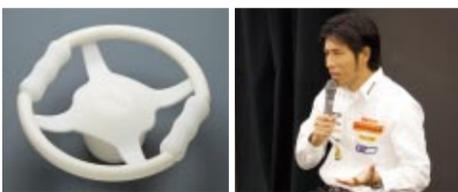
「ファースト・プライオリティは何か」といっていいでしょう。そこがしっかりしていれば、大事なものが浮かび上がり、それ以外は整理できる。でも、現実には、時間も限られた中で、慣習的に「ふつうはこんなものだ」ということが無批判に踏襲されることが多い。コンペのテーマである戸建住宅などは、実際には限りなく可能性があるにも関わらず実社会でそうした不当な取り扱いは受けている。高水準の作品が集まりました。300点近いそれぞれにエネルギーを投入された作品の中から、どのよう

第23回 日本工業大学建築設計競技入賞者

審査結果	高校・高専名	氏名
一等	山梨県立富士北穂	遠山 僚
二等	神戸市立科学技術	田中 天
		友田 翔・長原 由真
三等	山梨県立甲府工業	萩原 涉
審査員賞(小嶋一浩)	国立呉工業高等専門学校	福原 由佳
審査員賞(伊藤庸一)	堺市立堺	宮川 綾彌香
		松浦 佐知子
審査員賞(武田光史)	静岡県立科学技術	大森 貴之
佳作	兵庫県立神戸工業	安藤 亮
	静岡県立島田工業	中村 安沙美
	栃木県立宇都宮工業	野澤 凜平
	神戸市立科学技術	早川 凌平
	山梨県立甲府工業	松原 稜太
	埼玉県立春日部工業	牟田 龍二
	国立呉工業高等専門学校	和田 百合那
奨励賞	静岡県立浜松工業	大森 匠
	北海道札幌工業	金谷 英紀
	福岡県立福岡工業	鎌田 千恵
	神戸市立科学技術	兒玉 智也
		友田 翔・清呂木 晶晴
	青森県立弘前工業	佐藤 雄輝
	群馬県立桐生工業	須藤 泰明
	長野県白田	関川 愛里
		塩川 りえ・中山 光大
	静岡県立沼津工業	芹澤 望
	岩手県立盛岡工業	高橋 善貴
		吉田 尚子・長澤 直人
		平山 恵太・小田嶋 瑞貴
	埼玉県立熊谷工業	田端 由香
	静岡県立科学技術	辻村 保奈美
	埼玉県立大宮工業	平田 和哉
	青森県立青森工業	宮西 勇希
奨励学校賞	福島県立勿来工業	
	大阪市立工芸	

○印は共同作品の代表者です。

第1回 3D-CADプロダクトデザインコンテスト 全国からテーマ部門48点、自由デザイン部門17点の出品



左上:最優秀作品 右上:青木拓磨氏 下:受賞者と関係者で記念撮影

10月4日(日)、本学で第1回3D-CADプロダクトデザインコンテストの授賞式が行われた。本コンテストは、3D-CADを用いて「物作り」の最先端技術を体験するもので、入賞者には作品の3次元オブジェ(造形品)が贈呈された。全国の16高校からテーマ部門48、自由デザイン部門17作品の出品があった。当日はテーマ部門提案者の青木拓磨氏の講演、入賞者の造形品展示が行われた。イメージを形にする初のコンテストでマスコミの関心も高かった。

第1回 日本工業大学 3D-CADプロダクトデザインコンテスト入賞者

賞	高校名	代表者
テーマ部門:「障がい者用自動車ハンドル」		
最優秀賞	群馬県立伊勢崎工業	古郡 翔馬
拓磨特別賞	長野県箕輪進修	小池 将史
優秀賞	岐阜県立岐阜総合学園	中川 勇吾
優秀賞	栃木県立真岡工業	伊沢 領介
優秀賞	和歌山県立和歌山工業	大谷 龍司
優秀賞	群馬県立前橋工業	宮島 秀明
優秀賞	東京都立総合工科	谷田部諒平
審査員特別賞	栃木県立真岡工業	谷口 聡志
審査員特別賞	宮城県気仙沼海洋	及川 雄太
審査員特別賞	和歌山県立和歌山工業	古根川雄一

賞	高校名	代表者
テーマ部門:「障がい者用自動車ハンドル」		
佳作	群馬県立前橋工業	蓮見 拓也
佳作	埼玉県立春日部工業	安藤 卓弥
佳作	東京都立蔵前工業	及川 恵介
自由デザイン部門		
最優秀賞	愛知県立起工業	近藤衣理子
優秀賞	埼玉県立川越工業	池田なな子
優秀賞	秋田県立大曲工業	高橋 義典
優秀賞	秋田県立大曲工業	豊嶋 圭人
佳作	栃木県立真岡工業	坂本 貴啓
佳作	和歌山県立和歌山工業	西脇 一樹

第3回 マイクロロボコン高校生大会 全国から173台がエントリー・優勝は飯田工業高校 大平光介君



左上:マイクロロボット 右上:競技の様子 下:受賞者と関係者で記念撮影

9月12日(土)にマイクロロボットコンテスト高校生大会が開催された。本コンテストは1インチ角のロボットが所定のコースを自立的に走行し、時間を競うもの。わずか1インチ角のロボット内にCPUやバッテリーを搭載し、数十cmの大きさのロボットに匹敵する機能を持つ様に設計要求される。実習等で余った端材で製作が可能で、マイクロ化により省エネルギー・省資源をめざすエコロジーなロボットコンテストでもある。本コンテストは学園創立百周年行事の一環として、一昨年実施され、その後、高校関係者に好評を博し、第3回大会を開催する運びとなった。第3回大会では全国から173台がエントリー、参加者は引率の先生等を含め200人近くのにぼった。今回から、インターネット上に対戦状況を動画配信するWEB中継を導入するなどして、遠方からの参加校関係者に配慮した。またマスコミの関心も多く集め、産経新聞社などが取材に訪れた。優勝は、長野県飯田工業高等学校の大平光介君。

第3回 日本工業大学 マイクロロボコン高校生大会 結果

順位・賞	高校名	操作者	ロボット名
優勝	長野県飯田工業	大平光介	和魚花
準優勝	東京都立総合工科	中山惣一郎	Mark 6
第3位	長野県飯田工業	小野田翔	TOIKA
第4位	長野県飯田工業	小野田翔	SUGOKA
第5位	長野県飯田工業	原健太	竹郎
第5位	長野県飯田工業	金田純一	HOME
第5位	長野県箕輪進修	小池達彦	新みのきち
第5位	長野県箕輪進修	井上大樹	Last Robot Industries
技術賞	栃木県立宇都宮工業	青木誠	東鳩式
ものづくり環境学科賞	埼玉県立越谷総合技術	大瀬健太	ゼロテ
奨励賞	群馬県立藤岡工業	保坂香織	フジコ
学長賞	長野県箕輪進修		

平成21年度

秋季学位記授与式・入学式



柳澤学長から修了証書を受け取る修了生



秋季入学式で挨拶する柳澤学長

9月20日、秋季学位記授与式と留学生別科修了証書授与式が本学14号館5階会議室にて挙行された。この日卒業修了したのには、学部58名、大学院博士前期課程9名、留学生別科13名、香澤工友会会長をはじめ多数の来賓や父母、教員が出席し、柳澤学長が「エンジニ

アとして実工学のスピリットを持ってそれぞれの現場に臨んでいただきたい」と告辞を贈った。

また、10月1日には秋季入学式が挙行された。今回新たに学生生活をスタートさせたのは学部17名、留学生別科7名、カナダレスブリッジ・カレッジから編入した学生も含まれており、日本工大駒場高校から大森校長をはじめ、先生方が激励に駆けつけた。

森田教授に電気学会から「圧延機用交流電動機の規格化」で特別賞



森田登教授

電気電子工学科・森田登教授が、本年7月23日に電気学会鈴木俊男会長より、気学賞を受賞した。

我が国の鉄鋼産業は、生産量・品質ともに世界のトップレベルにあり、これを支えるものとして圧延プロセスがある。

圧延プロセスは、一對のローラーの間を通る間に素材を徐々に薄くする工程で、ローラーは大形の電動機で駆動されている。

この電動機には過去100年間直交流電動機が使用されてきたが、近年のインバータ技術の進歩によって、交流電動機を使用することが可能になってきた。

このように大形電動機は一台ごとに製造者と使用者が協議して設計・製作されるが、この協議時間を短縮するために、技術基準としての電気規格の存在価値がある。

圧延用電動機の規格は、従来、米国の電機製造者協会(IEEE)が作成したものが全世界で使用されてきたが、これは直交流電動機専用で、交流電動機には適用が困難であった。

森田教授は、電機メーカーおよび鉄鋼ユーザー設備技術者を指導して、圧延用交流電動機の規格をまとめ、完成したことで、電気学会から表彰されたものである。

「収穫の秋」に燃える院生

1年制大学院は年中多忙であるが特に秋学期は特定課題研究も始まり、キャンパスは一層緊張感に包まれる。授業は、主幹科目と発展科目を中心に多彩な20科目の講義が行われている。

また修士号を取得するためには必須である特定課題研究では、指導教授のもと各自の研究課題に熱心に取り組んでいる。佐久間新研、研究科長のもと新体制では、特に学生募集に例年より前倒しで注力している。7月

9月に開催され、大学院のさらなる発展を目指して活発な議論が行われた。

(副研究科長 山岡 彦)

2月と年4回の開催が予定されており、大学院の概要説明、模擬授業、修了生と在生によるパネル討論やフリートーク・セッションなど多彩なプログラムが展開される。また、今年から試みる、来春入学を前提とする10月履修開始プランに応募した科目等履修生も在生に混じって受講を開始している。その他、客員教授と大学院側との意見交換会も9月に開催され、大学院のさらなる発展を目指して活発な議論が行われた。

(副研究科長 山岡 彦)

専門職大学院 オープンキャンパス日程

平成21年 **12/5(土)** 平成22年 **2/13(土)**

説明会、模擬授業、パネル討論会、キャンパスツアー等を予定しています。

◆参加ご希望の方は、事前に下記までお申し込みください。

◆さらに詳しい情報についてはウェブサイトをご覧ください。 URL <http://mot.nit.ac.jp/>

専門職大学院 入試日程

	第2回募集	第3回募集	第4回募集
出願期間	平成21年11/2(月)~11/9(月)	平成21年12/14(月)~12/21(月)	平成22年2/15(月)~2/22(月)
試験日	平成21年11/15(日)	平成22年1/10(日)	平成22年2/28(日)
合格発表日	平成21年11/18(水)	平成22年1/13(水)	平成22年3/3(水)
入学手続締切日	平成21年11/26(木)	平成22年1/21(木)	平成22年3/11(木)

日本工業大学 専門職大学院 大学院技術経営研究科 技術経営専攻
TEL. 03-3511-7591 FAX. 03-3511-7594 E-mail: mot@kanda.nit.ac.jp



板金加工実習施設

この板金加工の本格的実習施設が、機械工学科の実験棟E11内に設置された。実践的な様々な板金加工専用機械とともに、溶接機や塗装設備なども設置され、本物のものづくり技術を体験し、製品製造のプロセスを学ぶことができる。

当面は機械工学実験やデザイン実習などの授業で利用するが、今後体制を整備し、広く運営していく予定。

機械工学科に板金加工実習施設(仮称)を設置

自動車のボディ、テレビの筐体など、多くの金属製品は、塑性加工という加工法で製造されている。このなかでも、金属板を素材とし、せん断、曲げ、絞り等

の加工で立体形状を成形する方法を、一般に板金加工と呼び、様々な加工機械を利用して様々な製品が製造されている。

この板金加工の本格的実習施設が、機械工学科の実験棟E11内に設置された。実践的な様々な板金加工専用機械とともに、溶接機や塗装設備なども設置され、本物のものづくり技術を体験し、製品製造のプロセスを学ぶことができる。

当面は機械工学実験やデザイン実習などの授業で利用するが、今後体制を整備し、広く運営していく予定。

第42期決算・第43期予算 日本工業大学の財政状況について

一・はじめに

第四十二期決算、第四十三期予算が公認会計士及び法人監事の監査を受け、法人理事会・評議員会で承認決定されました。ここに財務諸表をお知らせし、関係各位のご理解と引き続きのご協力を願います。

平成二十年度(二〇〇八年)に本学が行った主要な事業等は以下の通りです。

①キャンパス環境の充実及び省エネ化を目指し、本館西側窓のスクリーンからアルミサッシへの更新、食堂の空調・照明の高効率化等による一層のエコキャンパス

ス化。この学生食堂の省エネ化工事はNEDOの補助申請が採択されたものです。

②学園創立百周年事業の一環で建設されたLCセンター(図書館)を工業技術博物館同様、広く一般に開放しました。又、大学の所在である宮代町と「連携に関する協定(包括協定)」を取り交わし町との連携を強化しました。③不正防止の取組みの一貫として大塚商会の「たのめーる」を全学に導入しました。この制度は「指定業者制度」の一部であり現在は消耗品等の発注が中心です。又、全教職員が遵守すべき「行動規範」を定め、学内外に公表しました。④

国の検査機関である会計検査院等三名による実地検査が前回の検査から十四年ぶりに三日間行われました。特段の指摘もなく終了しました。

二・平成二十年度決算について

学校法人会計基準に基づいた財務諸表には次の三表があります。①全ての資金の流れとその期末を示す「資金収支計算書」(別表1)、②各年度における収支の均衡状態や財政の健全さを見る上での指標となる「消費収支計算書」(別表2)、③決算時点における財政状態を明らかにした

「貸借対照表」(別表3)の三表です。

また(別表5)にて「消費収支計算書」主要項目の分析表を添付いたしましたので、詳細につきましては別表をご参照ください。

○収入の部

学生生徒等納付金は、前年度比二億二千万円の減少、手数は七百円増減となりました。これは学生数の減少によるものです。寄付金は一〇〇周年寄付の要因があり四億三千万円増加しました。補助金は大型設備の購入を控えたこともあり前年比五千三百万円減少し

ました。資産運用収入では、引き続き国債を中心とした安定運用を行い、前年度比四千四百円増加しました。事業収入では主に企業から受託研究が増加し三千五百円増となりました。雑収入は、前年度比退職者の減少による私立大学退職金財団交付金の減少によるもので、以上の結果、帰属収入学金制度の充実等によるもので、その結果、教育研究費比率(別表5参照)は約三五%となり、全国的にも高い水準を維持しています。

三・平成二十一年度予算について

平成二十一年度予算書の詳細は別表4のとおりです。主たる収入である学生生徒等納付金収入は、学科再編による七学科体制を意識しながらも、学生数を厳しく予測した予算といたしました。寄付金収入は周年寄付の要因を調整しております。補助金収入は今後も積極的に申請・獲得を目指します。

教育研究経費支出は直接学生諸君に係る経費のため、高水準を維持すべく予算を改定いたしました。施設・設備関係支出では新学科棟を意識した予算としました。

四・むすび

平成二十一年度、七学科体制でのスタートを切っております。国も新政権が発足し私学に対する補助金も今後どう変わるのかわかりません。しかし、大学はこれからも充実した最新の教育・実験・研究施設を維持し、実工学教育を推進してゆく所存です。そのためには、学生、ご父母、卒業生の皆様のご理解が不可欠であります。これからも関係各位の皆様のご協力をお願い申し上げます。

(財務部)

(別表3) 貸借対照表

科目	資産の部		
	H20年度	H19年度	増減
固定資産	36,784,343	37,082,645	△298,302
有形固定資産	21,034,043	22,003,753	△969,710
その他の固定資産	15,750,300	15,078,892	671,408
流動資産	4,700,352	3,443,125	1,257,227
合計	41,484,695	40,525,770	958,925

(別表4) 資金収支計算書

科目	資金収支差額の部		
	H20年度	H19年度	増減
負債の部	7,185,523	7,715,617	△530,094
固定負債	4,262,308	4,677,877	△415,569
流動負債	2,923,215	3,037,740	△114,525
基本金の部	39,731,863	39,092,864	638,999
翌年度繰越消費収支差額	△5,432,691	△6,282,711	850,020
合計	41,484,695	40,525,770	958,925

(別表5) 消費収支計算書の主要項目の分析表

主要項目の分析比率(%)	消費収支差額の部		
	H20年度	H19年度	増減
補助金/帰属収入	6.91	7.71	△0.79
人件費/帰属収入	34.05	37.04	△2.99
教育研究経費/帰属収入	35.78	34.69	1.09
管理経費/帰属収入	5.18	5.70	△0.53
借入金等利息/帰属収入	1.31	1.50	△0.18
人件費/学生納付金	42.85	44.23	△1.38

(別表1) 資金収支計算書

科目	資金収支計算書		
	H20年度	H19年度	増減
収入の部			
学生生徒等納付金収入	6,526,959	6,749,745	△222,786
手数料収入	53,417	60,832	△7,415
寄付金収入	619,051	184,161	434,890
補助金収入	567,925	621,344	△53,419
資産運用収入	159,688	115,214	44,474
事業収入	82,037	46,900	35,137
雑収入	179,841	257,586	△77,745
前受金収入	2,098,187	2,178,067	△79,880
その他の収入	812,224	984,449	△172,225
資金収入調整勘定	△2,396,514	△2,544,123	147,609
前年度繰越支払資金	3,153,231	4,578,122	△1,424,891
収入の部合計	11,856,046	13,232,297	△1,376,251

(別表2) 消費収支計算書

科目	消費収支計算書		
	H20年度	H19年度	増減
消費収入の部			
学生生徒等納付金	6,526,959	6,749,745	△222,786
手数料	53,417	60,832	△7,415
寄付金	638,194	207,696	430,498
補助金	567,925	621,344	△53,419
資産運用収入	160,991	116,006	44,985
事業収入	82,037	46,900	35,137
雑収入	180,165	258,244	△78,079
その他の収入	3,720	0	3,720
帰属収入合計	8,213,408	8,060,767	148,921
基本金組入額合計	△638,998	△906,695	267,697
消費収入の部合計	7,574,410	7,154,072	416,618

(別表3) 消費収支計算書の主要項目の分析表

主要項目の分析比率(%)	消費収支差額の部		
	H20年度	H19年度	増減
補助金/帰属収入	6.91	7.71	△0.79
人件費/帰属収入	34.05	37.04	△2.99
教育研究経費/帰属収入	35.78	34.69	1.09
管理経費/帰属収入	5.18	5.70	△0.53
借入金等利息/帰属収入	1.31	1.50	△0.18
人件費/学生納付金	42.85	44.23	△1.38

(別表4) 消費収支計算書の主要項目の分析表

主要項目の分析比率(%)	消費収支差額の部		
	H20年度	H19年度	増減
補助金/帰属収入	6.91	7.71	△0.79
人件費/帰属収入	34.05	37.04	△2.99
教育研究経費/帰属収入	35.78	34.69	1.09
管理経費/帰属収入	5.18	5.70	△0.53
借入金等利息/帰属収入	1.31	1.50	△0.18
人件費/学生納付金	42.85	44.23	△1.38

(別表5) 消費収支計算書の主要項目の分析表

主要項目の分析比率(%)	消費収支差額の部		
	H20年度	H19年度	増減
補助金/帰属収入	6.91	7.71	△0.79
人件費/帰属収入	34.05	37.04	△2.99
教育研究経費/帰属収入	35.78	34.69	1.09
管理経費/帰属収入	5.18	5.70	△0.53
借入金等利息/帰属収入	1.31	1.50	△0.18
人件費/学生納付金	42.85	44.23	△1.38

(別表6) 消費収支計算書の主要項目の分析表

主要項目の分析比率(%)	消費収支差額の部		
	H20年度	H19年度	増減
補助金/帰属収入	6.91	7.71	△0.79
人件費/帰属収入	34.05	37.04	△2.99
教育研究経費/帰属収入	35.78	34.69	1.09
管理経費/帰属収入	5.18	5.70	△0.53
借入金等利息/帰属収入	1.31	1.50	△0.18
人件費/学生納付金	42.85	44.23	△1.38

(別表7) 消費収支計算書の主要項目の分析表

主要項目の分析比率(%)	消費収支差額の部		
	H20年度	H19年度	増減
補助金/帰属収入	6.91	7.71	△0.79
人件費/帰属収入	34.05	37.04	△2.99
教育研究経費/帰属収入	35.78	34.69	1.09
管理経費/帰属収入	5.18	5.70	△0.53
借入金等利息/帰属収入	1.31	1.50	△0.18
人件費/学生納付金	42.85	44.23	△1.38

